



営農NEWS



ショウガ栽培における病害虫の防除対策

ショウガは高温多湿の環境を好み、乾燥には弱い作物です。しかし、排水の悪い圃場では、地上部が生育しても根部の肥大が劣って腐敗も多くなります。このため、作土が深く、排水性に優れ、保水力のある肥沃な圃場が栽培に適します。また、日陰の場所でも葉色鮮やかに生育しますが、塊茎の肥大を促すためには高温、多日照が必要になります。

生育の適温は 25~30℃で、低温の限界は 15℃くらい、15℃以上の温度で萌芽します。寒さには弱く、10℃以下になると塊茎が腐敗しやすくなります。

ショウガ栽培において特に重要な病害は、**根茎腐敗病**です。本病は、前作の罹病した残渣が越冬して土壤伝染する他、感染した種根茎を植え付けることで圃場に持ち込まれ、雨で圃場が浸冠水した場合に多発生し、感染株が拡大します。防除対策として、①発病株の早期発見に努め、早めの除去、②圃場排水性の改善や高畦栽培、③感染していない健全な種根茎の使用、④生育中に有効薬剤の予防散布や発病初期の防除徹底、⑤発病圃場の土壤消毒などが必要になります。生育中の防除対策として、下記の表1を参考に、**梅雨期などは特に防除の徹底に努めてください**。その他、病害では紋枯病、白星病、軟腐病などの発生することがあります。

害虫では**アワノメイガ**やイネヨトウの幼虫が茎内に食入して萎れや芯枯れを生じ、多発すると株が枯死するので問題となります。幼虫が食入した被害茎の穴から鋸くず状の虫糞を出すのが特徴で、6月頃より発生しますが、特に被害の大きいアワノメイガは7月後半頃から目立ってきますので、早期発見と防除の励行が重要になります。その他では、ハスモンヨトウやネコブセンチュウなどの寄生することがあり、ハスモンヨトウは8月後半頃より発生する傾向です。

表1 ショウガ根茎腐敗病の主な防除薬剤 (令和3年6月15日現在)

薬剤名	使用量または希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
ユニフォーム粒剤	18 kg/10a (生育期土壤表面散布 または定植前作条土壤混和)	収穫30日前まで / 3回以内	11と4
ランマンフロアブル	500~1,000倍 (2~3ℓ/m ² 土壤灌注) または500倍 (1~3ℓ/m ² 土壤灌注)	(生育期) 収穫30日前まで / 3回以内	21
プレビクールN液剤	400~600倍 (3ℓ/m ² 土壤灌注)	(生育期) 収穫30日前まで / 5回以内	28
オラクル顆粒水和剤	2,000倍 (1~3 ℓ/m ² 土壤灌注) または3,000倍 (3ℓ/m ² 土壤灌注)	(生育期) 収穫3日前まで / 3回以内	21
オーソサイド水和剤 80	塊茎重量の2%を塊茎粉衣	植付前 / 1回	M4

注) 表1および2の分類欄にはFRAC、表3にはIRACコードを記載しました。同一分類(コード)は作用点が同じなので、連用は避けてください。

表2 ショウガ紋枯病、白星病、軟腐病の主な防除薬剤 (令和3年6月15日現在)

対象病害			薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
紋枯病	白星病	軟腐病				
○	○		ダコニール 1000	1,000倍	収穫14日前まで / 5回以内	M5
○			バリダシン液剤 5	800倍	収穫14日前まで / 4回以内	U18
○			モンカットフロアブル 40	2,000倍	収穫3日前まで / 5回以内	7
	○		トリフミン水和剤	1,000倍	収穫前日まで / 5回以内	3
	○		オーソサイド水和剤 80	600倍	収穫3日前まで / 2回以内	M4
		○	Zボルドー	500倍	- / -	M1

表3 ショウガのアワノメイガ、ハスモンヨトウの主な防除薬剤 (令和3年6月15日現在)

対象害虫		薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
アワノメイガ	ハスモンヨトウ				
○	○	トルネードエースDF	2,000倍	収穫7日前まで / 3回以内	22A
○	○	フェニックス顆粒水和剤	2,000~4,000倍	収穫前日まで / 2回以内	28
○	○	アクセルフロアブル	1,000~2,000倍	収穫前日まで / 3回以内	22B
○		スカウトフロアブル	1,500倍	収穫前日まで / 5回以内	3A
○		デミリン水和剤	1,000倍	収穫前日まで / 3回以内	15
○		パダンSG水溶剤	1,500倍	収穫7日前まで / 5回以内	14
	○	ロムダンフロアブル	2,000倍	収穫前日まで / 3回以内	18
	○	プレオフロアブル	1,000倍	収穫前日まで / 2回以内	un
	○	コテツフロアブル	2,000倍	収穫前日まで / 2回以内	13

農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。

※JA全農いばらきホームページでもご覧になれます。



農機営農支援部 営農支援課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040